

# 社協 おうたき

第

46

号

平成23年7月1日発行

社会福祉法人  
王滝村社会福祉協議会

〒397-0201  
長野県木曾郡王滝村2830-1  
TEL 0264 (48)2008  
FAX 0264 (48)3033



いつまでも  
輝いて!

もうすぐ90歳です!  
いきいきサロンの日帰り旅行で  
つくった手芸小物を手にとって  
(H22.10)

平成22年度事業報告・・・2～4P

平成22年度収支決算・・・5～6P

社協中期目標・・・7P

# 平成22年度おもな事業の報告



## ◇ 地域福祉推進事業

### ボランティア・広報・啓発



1. ボランティアの育成・支援  
登録ボランティア 13メニュー 92名  
ボランティアスクール 参加者23名  
その他、ボランティア新年交流会や、お楽しみ弁当つくり隊勉強会等を実施。
2. 第21回福祉・健康の集い（社会福祉大会）  
“見つめよう！心の「ゆとり」 広めよう！  
思いやりの輪” 9月5日 参加者260名
3. 福祉教育  
小中学生夏休みボランティア体験  
体験 5メニュー 参加者73名  
その他、デイサービスなどでの子どもたちとお年寄りの交流会や、小中学生の福祉体験教室、メッセージカードづくり、福祉映画鑑賞会等を実施。

若いお母さんたちも大活躍！



### お楽しみ弁当

おいしいお弁当をお届け！  
お楽しみ弁当のつくり隊には、9グループ50名の方が登録。年に一度の勉強会は一所懸命です。



### 地域支え合い活動の促進

1. 地区サロンと情報交換会 10月15日／中越地区  
情報交換会（福祉サービス紹介、「支えあいマップ」「エコマップ」を作ろう！他）  
出前介護教室（「認知症について理解しよう！」）

## 支えあい 学びあい ボランティア

わたしもやらせて！  
どんぐり広場のごたぐらぶで恒例のおもちつき。おじいちゃんといっしょにおもち、おいしかったな！



### ごたぐらぶ

### どんぐり広場

自分らしいボランティア発見！  
郡内社協が合同でボランティア講座を開催。新たな気づきや発見がありました。



じいちゃん 教えて！  
小学校3年生と交流会。いっしょにわら細工づくりをしました。

	実施回数	利用者	延利用回数(前年度比)
1 どんぐり広場	12回	11組11名	82回 (△14回)
2 ミニ児童館 高齢者エアロビクス	243日	45名	372回 (△11回)
3 ふれあい元気づくり教室	12回	39名	263回 (+1回)
4 お楽しみ弁当	12回	46名	469回 (+4回)
5 ごたぐらぶ	12回	15名	81回 (△15回)
6 会食会	1回	84名	- (+1名)
7 障がい者希望の旅	1回	12名	- (+2名)
8 障がい者交流会	1回	3名	- (±0名)

# 元気づくり教室



## 福祉教育

おばあちゃんといっしょに記念撮影  
小中学生が「夏休みボランティア体験」  
でお弁当配りのお手伝い。畑にすわって  
いっしょに記念撮影しました。



小学校4年生がセンターで  
点字ブロックの歩行体験

# 生きがいをもって

## 介護教室

笑って たのしく 健康づくり！

ふれあい元気づくり教室は、昨年からエアロビクス、運動  
訓練に音楽教室も取り入れて再スタート。『笑顔』が健康  
のいちばんの秘訣です！

## いきいきサロン



みんなで壁掛けづくり  
「春夏秋冬」の4枚の大きな  
壁掛けを3ヶ月間かけて制作  
し、保育園へプレゼント。  
みんなで相談しながら、ひと  
つの作品を仕上げました。



ひとりになっても大丈夫！？

「スタミナ料理で、暑い夏を乗りきろう！」  
と題して男性料理教室が開催。“しんけん”  
な表情で料理作りに取り組みました。



## ◇介護予防・生活支援事業



### 配食サービスの利用増加

配食サービスでは月平均+59  
食、対前年度比129%と利用  
者が大幅に増加しました。  
又、一人当たり利用食数も  
増加しており、特に、介護が  
必要な独居世帯等の皆さんで  
配食サービス等の食事サー  
ビスを頼りに生活される方も  
増えています。

### 介護者への支援を強化

介護者リフレッシュ事業や  
介護教室の利用者が増加。  
前年度は、介護者の皆さんの  
負担等に関するアンケート  
調査も実施しました。

	実施回数 (日数)	利用者	延利用回数(前年度比)
1 いきいきサロン	12回	13名	118回 (△16回)
2 配食サービス	486回	18名	3,121回 (+707回)
3 生活支援ホームヘルプ	86日	5名	118回 (+16回)
4 介護教室	5回	119名	132回 (+31回)
5 介護者リフレッシュ	3回	11名	17回 (+13回)
6 外出支援サービス	221日	54名	734回 (△98回)
7 軽度生活援助サービス	41日	9名	46回 (△7回)
8 心配ごと相談所	13回	-	16回 (△5回)

## ◇生活支援ハウス運営事業

入居者4世帯5名 (365日24時間営業)

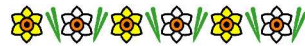


## ◇資金貸付事業

新規貸付 2件 (500,000円)



# ◇介護保険事業



	営業日	利用者(新規)	延利用回数
1 居宅介護支援事業	243日	37名 (14名)	335回
2 通所介護 (デイサービス)	257日	31名 (11名)	3,251回
3 訪問介護 (ホームヘルプ)	308日	15名 (5名)	4,029回
4 障害者ホームヘルプ	308日	0名	0回



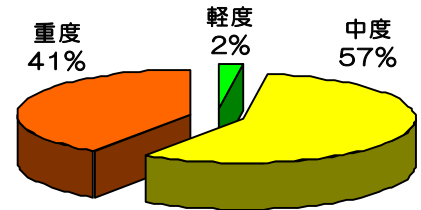
みんなで木曾踊り～デイサービス敬老会

## 訪問利用回数が大幅に増加

訪問介護サービスでは、利用者の数は前年度と同人数でしたが、利用回数は月平均+75回(129%)と大幅に増加しました。又、訪問時間も、月平均+84Hと前年度の約1.5倍に増加し、中でも生活援助サービスでは前年度の2倍近くまで増加しました。

## 独居世帯等の支援が課題

訪問介護サービスの利用者の3分の2はひとり暮らしの方で、高齢者世帯の方を合わせると全体の9割以上に上ります。在宅での生活を継続するためには、生活全般を支援するサービスの充実が不可欠です。



## <居宅介護支援事業>

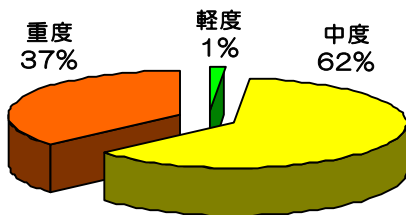
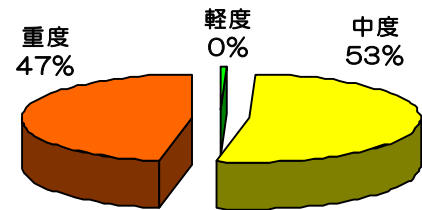
### 介護状態別ケアプラン作成状況

	22年度	21年度	増減
軽度	7件	11件	△4件
中度	192件	174件	+18件
重度	136件	101件	+35件
合計	335件	286件	+49件

## <デイサービス>

### 介護状態別利用状況 (延人数) ◎1日平均利用 12.6人

	22年度	21年度	増減
軽度	14人	56人	△42人
中度	1,714人	1,628人	+86人
重度	1,523人	1,294人	+229人
合計	3,251人	2,978人	+273人



## <ホームヘルプサービス>

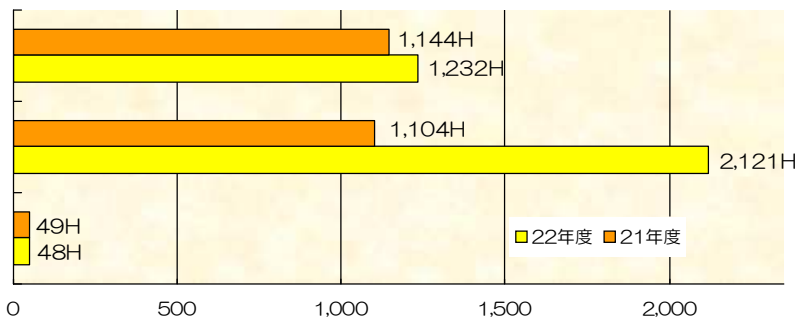
### 介護状態別利用状況 (延時間)

	22年度	21年度	増減
軽度	48H	49H	△1H
中度	2,048H	1,569H	+479H
重度	1,203H	634H	+569H
合計	3,299H	2,252H	+1,047H



早く咲かないかな～！  
ごたくらぶとデイサービスで  
いっしょに花桃の苗を植樹。

身体介護  
生活援助  
介護予防



# 平成22年度一般会計決算

## “体制整備により人件費が増加”

歳入合計 81,202,361円  
 歳出合計 79,522,361円  
 差引残高 1,680,000円

平成22年度の決算額は前年度より大幅に増加し、積立金などを除いた実質決算額は前年度比五八二万円（＋9％）の増加となりました。

歳出面では、正規職員二名採用による人件費が前年度比四九〇万円（＋10％）増加。歳入面では、介護保険収入が前年度比＋17％と増加し、特に訪問介護事業ではサービス時間の増加により、前年度比＋29％と大幅に増加。又、村からの人件費補助金は、協議により0・5名分の増加となりました。

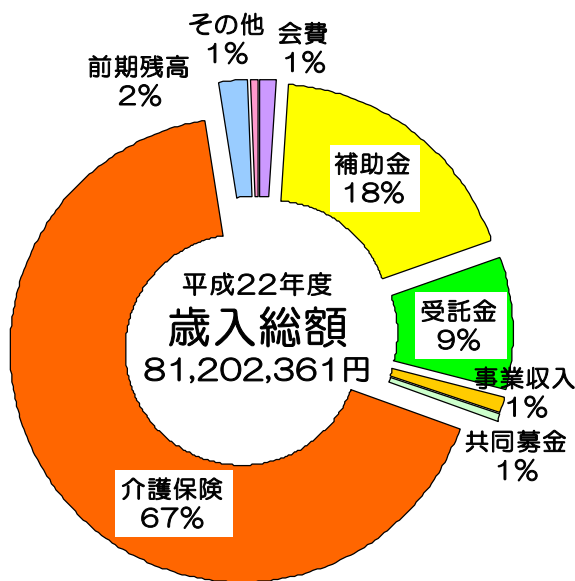
財政面では、介護保険収入、特に訪問介護事業の収入が、前々年度から、一年間で二、三百万円減少、増加を繰り返しており、計画的な積立金の確保に留意しました。



### 歳入

(単位：円)

	決算額	前年度決算額	増減
1 会費	885,000	864,000	21,000
2 寄附金	78,455	153,920	△75,465
3 玉滝村補助金	15,020,000	5,178,000	9,842,000
4 受託金	7,550,194	13,062,207	△5,512,013
5 事業収入	809,000	829,100	△20,100
6 貸付事業収入	80,000	0	80,000
7 共同募金配分金	603,256	619,163	△15,907
8 介護保険収入	54,207,759	46,445,082	7,762,677
9 前期繰越金	1,601,465	1,902,223	△300,758
10 その他	367,232	318,077	49,155
合計	81,202,361	69,371,772	11,830,589

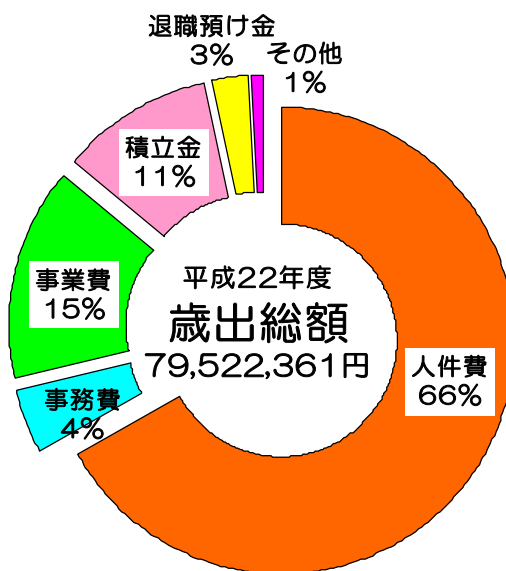


※ 実質歳入決算額で、経理区分間繰入金等を除く。

### 歳出

(単位：円)

	決算額	前年度決算額	増減
1 人件費	53,160,062	48,218,325	4,941,737
2 事務費	3,509,067	3,167,067	342,000
3 事業費	11,732,110	11,727,930	4,180
4 貸付事業支出	500,000	0	500,000
5 退職共済預け金	2,173,406	1,641,725	531,681
6 基金・積立金積立	8,386,116	2,954,560	5,431,556
7 その他	61,600	60,700	900
合計	79,522,361	67,770,307	11,752,054



※ 実質歳出決算額で、経理区分間繰出金等を除く。

= 説明 =

#### (補助金・受託金)

受託金では、生活支援ハウス運営事業で正規職員人件費1名分が減額。一方で、村からの補助金は正規職員1.5名分の増額となりました。

#### (介護保険収入)

居宅介護支援事業で対前年度比＋20%、通所介護事業で同＋8%、訪問介護事業で同＋29%と、それぞれ利用者増加により前年度より増額しました。

## 地域福祉推進事業の内訳

①地域福祉推進事業	6,620,355
②ボランティアの育成・支援	403,332 ○
③社会福祉大会 (福祉・健康の集い)	442,287 ○◎
④福祉教育の推進	27,641 ○
⑤調査広報事業	157,895 ◎
⑥どんぐり広場/ミニ児童館	151,724 ○◎
⑦会食会 ほか	148,864 ○◎
⑧高齢者エアロビクス教室	190,011 ○
⑨お楽しみ弁当	424,927 ○
⑩ごたくらび	94,230 ○◎
⑪障がい者希望の旅	66,557 ○
⑫障がい者交流会	6,520 ○
⑬福祉団体の育成・支援等	20,000 ◎

☆ 内、利用者の皆さまの利用料等 計465,600円  
(対事業費支出 35%)  
※「○」は会員の皆さまの年会費を充当 (計10事業)  
※「◎」は共同募金配分金事業 (計6事業)

## 事業別歳出決算額の内訳

(単位：円)

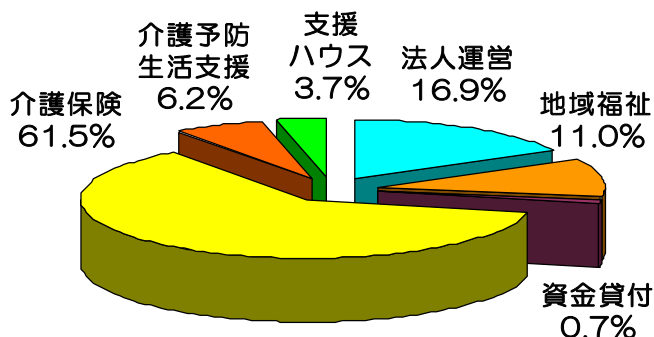
	決算額	前年度決算額	増減
1 法人運営事業	13,418,855	3,505,009	9,913,846
2 地域福祉推進事業	8,754,343	7,536,343	1,218,000
3 介護保険事業	48,936,453	43,291,857	5,644,596
4 介護予防・生活支援事業 (地域支援受託/村受託事業)	4,891,674	4,899,818	△8,144
5 資金貸付事業	552,116	51,191	500,925
6 生活支援ハウス運営事業 (村受託事業)	2,968,920	8,486,089	△5,517,169
合計	79,522,361	67,770,307	11,752,054

※ 法人運営事業は法人安定化積立金 (4,500,000円) 等を含む。  
※ 介護保険事業は固定資産積立金 (3,789,700円) を含む。

## 介護予防・生活支援事業の内訳

①いきいきサロン	343,525
②配食サービス	2,102,534
③生活支援ホームヘルプ	269,142
④介護教室	68,036
⑤介護者リフレッシュ	45,910
⑥外出支援サービス	1,872,326
⑦軽度生活援助サービス	112,944
⑧心配ごと相談所	77,257

☆ 内、利用者の皆さまの利用料等 計1,486,100円  
(対事業費支出 71%)



## 介護保険事業の収支

(単位：円)

	居宅介護支援	通所介護	訪問介護	合計
歳出決算額 a	3,910,470	28,626,389	12,609,894	45,146,753
介護保険収入他 b	4,608,465	32,326,609	14,310,792	51,245,866
過不足額 b-a	697,995	3,700,220	1,700,898	6,099,113
(固定資産積立金)	694,280	2,954,021	141,399	3,789,700
(その他事業繰出金)	3,715	246,199	59,499	309,413
(次年度繰越金)	0	500,000	1,500,000	2,000,000

※「介護保険収入他」は法人安定化積立金への積立額を除く。内、利用者の皆さまの利用料 計8,005,434円  
※「その他事業繰出金」は他事業の財源不足額の補填額 (法人運営事業へ 252,013円/地域福祉推進事業へ 57,400円)



## H22 基金・積立金の状況

H23.3.31現在 (単位：円)

基金・積立金	積立額	取崩額	残高	用途
地域福祉基金 ※地方交付税財源	0	0	69,953,074	◎果実運用 (社会福祉事業へ)
	78,455	0	10,331,495	◎果実等運用 (地域独自の福祉サービスへ)
	4,500,000	0	20,000,000	◎基盤整備、介護保険経営補填準備金
福祉基金 ※寄附金等財源	0	0	3,789,700	◎消耗資産の更新準備金 (8件)
	0	0	13,914,248	
	0	0		
法人安定化積立金	4,500,000	0	20,000,000	◎基盤整備、介護保険経営補填準備金
固定資産積立金	3,789,700	0	13,914,248	◎消耗資産の更新準備金 (8件)
	0	0		
	0	0		

※平成22年度は、経費削減等により、基金、積立金からの取り崩しは致しませんでした。(取崩予算額 1,218千円)

※法人安定化積立金は、基幹的な人件体制整備のための人件費財源の確保、及び介護保険事業が赤字決算の場合の財源補填等を目的に積み立てています。

※固定資産積立金は、サービス運営に不可欠な車輛等の固定資産について、償却年数の古い資産から優先的に積み立てています。



H23-28

# 社協中期目標

年度単位での事業計画を補完し、中長期的な視点に立った法人運営を行なうために、体制整備、事業展開等に関する5つの基本目標を定め、今年度、新たに中期目標を策定しました。

## ひとひたひたが尊重されいきいきと輝き、 やさしさとぬくもり溢れる地域づくりのために



### I. 持続可能なサービス提供体制の構築

- ① 適正な人員体制の維持と運営財源の確保、並びに処遇環境の整備
- ② 公益的事業の位置づけの明確化、および不採算部門に関する意識の共有、並びに公費財源の確保

### II. 利用者の想いをくみ取り、よい必要とされる福祉サービスを目指して

- ① 利用者の『満足度』を高めるための取り組みと、サービスの質の向上
- ② 目標管理による評価制度導入の検討、並びに人材育成の推進

### III. いつまでも住みなれた地域で生活できるように

- ① ひとり暮らしや高齢者世帯の方の生活基盤の整備、および支援体制の強化
- ② 在宅生活の継続のための支援体制の整備
- ③ 高齢者の生きがいづくりの促進と“元気づくり”
- ④ 認知症ケアの充実

### IV. ともに支えあえる地域福祉を目指して

- ① 住民支え合い活動の促進と「安心ネットワーク」の構築
- ② 権利擁護と地域理解の促進

### V. 社協の役割の再確認と組織基盤の強化

- ① 「自助」「共助」「公助」のあるべき姿の模索と、行政との役割分担の明確化
- ② 業務管理体制の整備、および業務分担の適性化



◇高齢化率の現状 H22-23

全 国	23.1%
長野県	26.5%
王滝村	36.4%

※ 65歳以上の高齢者の人口割合



◇ひとり暮らし高齢者の割合 H22-23

全 国	15.6%
長野県	11.4%
王滝村	23.3%

※ 高齢者の人口に占める割合（県の値は推計値）



平成22年度寄付者ご芳名

あたたかいご厚志感謝いたします!

寄付総額 78,455円

一般寄付金

(受付順)

団体 王滝村婦人会 様 個人 新谷 秀子 様  
木谷 康子 様

(第21回福祉・健康の集い/チャリティーマーケット)

団体 郷土料理 ひだみ 様 王滝かぶ加工商品化研究会 様  
おんたけ朝市 様 王滝村体育協会バレー部 様  
さわ屋 様 木曾まんまグループ 様

個人 長谷川 昭 様

チャリティバザー (売上げ 37,400円)

物品寄贈

どんぐり村工房 様  
遠赤外線ヒーター 1台

瀬戸 美恵子 様  
食器一式 (小皿、小鉢)



手づくりのお弁当袋  
配食サービスで毎日大活躍です!

※ この他にも、手づくりの野菜や作品、綿布や介護用品、遊具など数多くの心のこもった頂きものがありました。(計55件)

社協会員制度は、地域の皆さまが個人や団体の皆さまがともに参加し、支え合い、地域に必要なとされる福祉サービスをとともに考えるための制度です。会費は、地域の実情に合ったきめ細やかな福祉サービスを提供するために必要とされま

# 会員・会費制度

にご協力を!

個人会員・・・おおむね20歳以上の皆さま

年会費 1口 1,000円

納入期限 8月5日(金)

◎ 福祉推進委員がご自宅に伺います。

法人会員・・・企業、団体の皆さま

年会費 1口 3,000円

納入期限 8月12日(金)

◎ 口座振込、又は保健福祉センターへご持参ください。



## ～平成22年度 監査意見よい①～

### ◇人員体制の整備について

安定的な人員体制の整備のために、中長期的な視点に立った人材育成に努められた。また、職員の資格取得等に関しても、積極的に支援されたい。

## ～平成22年度 監査意見よい②～

### ◇福祉ニーズの反映について

事業計画に盛り込まれている地域における福祉ニーズの反映に関して、前年度実施されたアンケート調査等の課題や福祉ニーズを実際に福祉サービスに反映させるために、行政とも連携し、具体的な検討が行われた。

## ～平成22年度 監査意見よい③～

### ◇サービス展開について

村内の現状や人口規模等に合わせた福祉サービスのあり方を考えるとともに、地域で住み続けたいという願いをかなえるために、村内にない施設サービスを補完する在宅サービス等の検討と、より一層の充実

= 補足意見 =

地域における支え合い活動や住民参加が求められる一方で、村内の現状は、過疎、高齢化の中で、今後、益々、支援を必要とする人口に対し、支援をする側の人口が相対的に減少して行くものと思われる。こうした認識を行政とも共有し、社協のみでは解決できない課題に対し共同で取り組むよう期待します。